

事業目的	県内の看護師等学校養成所の卒業生の県内就業率は低い状況にあることから、看護師等確保対策の課題と今後のあり方を検討するため、平成26年度以前の看護師等学校養成所の卒業生のうち、県外医療機関に就業した卒業生に対して、就業理由や県内のUターン就業等の状況等を把握するためにグループインタビュー調査を実施。
事業対象者	対象者: 県内出身者で県外に就業した卒業生: 計7名 (東京都・神奈川県に勤務しており、卒業後5年未満であった)
事業実施時期	平成28年3月 2グループで実施
結果概要	<p>< 県外就業理由 ></p> <ul style="list-style-type: none">○学生のとときに、県外病院からの奨学金制度を利用した。同級生の80名のうち、20～30名が奨学金を利用して同じ病院に勤めている。入学後に、県外病院からの奨学金の案内資料が配布された。青森県内の病院からも同じような奨学金の案内があったら、青森県内に就職していたかもしれない。○青森県内で就職試験が不採用となってしまった。県外に出て勉強してみることをアドバイスされ県外に就職した。○学校にある就職案内のパンフレットはほとんど学校等の系列病院ばかりで、青森県内の医療機関の情報があまりなかった。○学生時代の実習先の県内病院で、人間関係で嫌な思いをした。○看護師あっせんサイトから県外の医療機関勤務について強力なプッシュがあった。 <p>< 将来・Uターンの意思について ></p> <ul style="list-style-type: none">○当面は、今のまま働き続けたいと思うが、いつかは青森県に帰りたい。○将来的に子育てをするなら、両親が近くにいたり、環境的にも青森県の方がいい。しかし、首都圏の方が、院内保育所や定時で勤務が終了できるといった子育て支援は整っていると思う。 <p>< その他 ></p> <ul style="list-style-type: none">○学生当時は、首都圏の方が最先端の医療に触れられると思ったが、地元とそれほど違いがなく同等の水準に思う。